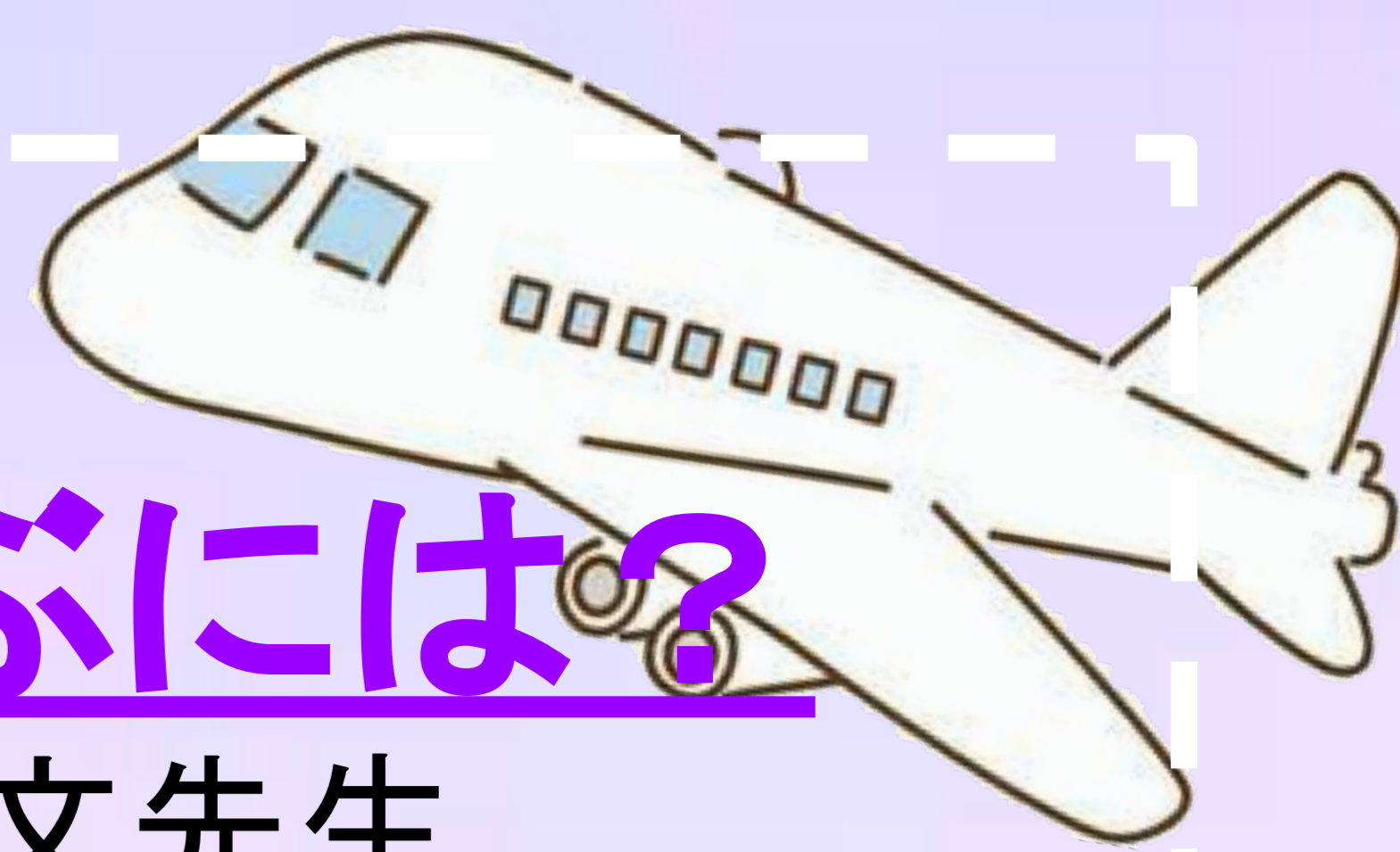


普通科人文34班

# 高千穂に来る観光客を延岡へと運ぶには？



班員 伊東 栞愛 岡田 葵  
向 朝陽 黒田 小雪

指導者 川越雅文先生

## 研究の動機

宮崎県も観光地域であると思い、他の観光地域より観光客数が少ないのはなぜなのか疑問に思った。身近な地域(延岡や高千穂)に焦点を当て、今ある観光スポットを活かして、みんなが行きたい旅行プランを立て、観光業と地域の活性化へと繋げたいと思った。(写真スポットもあるのでは!)

## 研究の目的

県外からの観光客数、宿泊客数が少ないなどの、長年問題となっている宮崎の観光業の課題に少しでも貢献できるように、そして観光客を増やせるように研究したいと思った。

## 先行研究(分かっていること)

観光客が求めること:その土地の自然な風景、食、文化、史跡、アクティビティなど

延岡の観光客は、コロナもあり減少。一方高千穂は、コロナ前8割まで回復。

## 研究方法

自分たちで延岡の魅力を探す

→実際に行く、高千穂の魅力と比較してみる  
(悪いところを探すのではなく、足りないところを見つける)

旅行プランを考えてみる

→旅行会社の方々や市役所の観光関係の方々に見てもらおう(改善、付け足し)

自由な夢のある発想、大きなイメージを持つことが大事

どの季節が一番延岡を観光するのに適しているかを調べてみる。

## 必要な道具

延岡観光協会の方々の補助



## 仮説

対象者を若い人にする。

↑私達若者の意見を提案してみる。

高千穂の観光客は熊本空港から来る。→そのまま延岡にきてもらうために

(調)延岡のイベントや食を広げる。延岡内に物産店をつくったり、道の駅も。

(行)市役所の人や観光会社の人にFWLしてみる。話を聞く。アイデアだけにとどまらず、実行する。

## 研究計画

1. 延岡の自然や食、歴史を調べたり、実験に行ったりする。
2. 改善点を見つける。
3. 足りないものをどのように補えるか、お店やイベント会社に相談できないか。
4. 1~3までに学べたことをもとに、プランを立ててみる。
5. 色々な方にプランを見せ評価をもらう。
6. 何度も繰り返しベストプランを作る。

4~5月

延岡のことについて調べる。実験する。

6~7月

改善点を見つけて、足りないものを補う。

9月~10月

色々な方に評価をもらい、ベストプランを立てる。

11~12月

ポスター作成



## 参考文献

・朝日新聞デジタル

<https://www.asahi.com/articles/ASRDD74CYRD5TNAB00F.html>

・宮崎県

[https://www.pref.miyazaki.lg.jp/documents/84434/84434\\_20231228102958-1.pdf](https://www.pref.miyazaki.lg.jp/documents/84434/84434_20231228102958-1.pdf)